

祝 辞

文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付
学術基盤整備室長 三宅 隆悟

このたびは、第 81 回私立大学図書館協会総会・研究大会の開催に際し、心よりお喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大を考慮され、「リアルタイム配信」と「事前収録動画公開」の 2 つの方法を組み合わせる等工夫を凝らして開催されます運営の御努力に敬意を表します。

私は、今年度より文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付学術基盤整備室長に着任しました三宅と申します。当室は、大学図書館をはじめ、学術情報基盤の整備に関する業務を所管しております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私が着任して間もなく、新型コロナウイルス感染症が拡大し緊急事態宣言が発令されることとなり、大学図書館の多くが臨時休館となりました。その結果、研究や学修のために必要な学術文献にアクセスできない研究者や学生から学術文献へのアクセス確保を切望する声上がる等、大学図書館が日頃いかに教育研究活動を支えてきたのかということを改めて実感いたしました。

5 月～6 月には、各大学図書館の開館状況や各種サービスの提供状況についてアンケート調査をさせていただきました。お忙しい中、多数の回答をいただき、この場を借りてお礼申し上げます。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、例えば、大学図書館の Web ページにて、自宅から閲覧可能なジャーナル、データベース等を紹介したり、図書を郵送で貸出したり、日時限定で開館したりする等、様々な工夫により、学術文献へのアクセス確保に御尽力いただきましたことに対し、改めて感謝申し上げます。本原稿を執筆している 6 月末の時点では、コロナウイルス感染者も小康状態になっており、日頃の活動が徐々に元に戻りつつありますが、予断を許さないという状況でもあります。皆様におかれましては、前述のアンケート結果と合わせて共有させていただいた各館の取組を参考にしながら、また、各図書館間でもグッドプラクティスの情報共有をしていただきながら、今後に備えていただければありがたく存じます。

今大会テーマは「大学図書館のコレクション構築を考える」でございます。図書館にとってコレクション構築は、当該図書館を特徴づける役割であり、あらゆるサービスの根幹を支える重要な要素です。これまでもインターネットの普及や電子資料の普及といった流れがございましたが、これからのコレクション構築を考える際には、新たに感染症拡大下における資料提供の在り方という観点も加わるのではないのでしょうか。今大会において活発な意見交換がなされることを期待いたします。

それでは、私からは、大学図書館に関連する最近の動向を少し御紹介させていただきます。図書館サービスの充実、発展等の御参考になれば幸いです。

はじめに、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律、いわゆる読書バリアフリー法に関する動向でございます。読書バリアフリー法に基づき、7 月 14 日に基本計画が策定されたところでございます。

皆様におかれましては、引き続き、学内の障害学生支援室、関連組織等とも連携いただくと

ともに、国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスとの連携・活用を御検討いただくなど、大学図書館における障害者サービスの充実に努めていただきますようお願い申し上げます。

現在、大学で製作された視覚障害者等用のデータ共有があまりなされていないという実態を受け、これらのデータの所在情報を共有する仕組みの構築を国立情報学研究所において検討していただいております。仕組みの構築にはもうしばらく時間がかかりますが、ぜひ御参画を御検討いただけますと幸いです。学生、教職員の方々が等しく図書館所蔵の図書や講義の教材等の情報を享受できる環境の整備は非常に重要であると存じますので、引き続きお心配りをお願いいたします。

次に、科学技術・学術審議会情報委員会ジャーナル問題検討部会でございます。昨年度立ち上げ、継続的に審議を行っております。今後は、研究成果発表・公開に係る経費増への支援、オープンアクセス化への動きへの対応、研究成果の発信力強化の在り方、論文数のみに依存しない研究者評価の在り方等の課題を、短期的・中期的・長期的検討項目として整理し、集中的に調査・議論を進めていく予定でございます。審議の結果、調査、アンケート等をお願いする可能性もございますので、引き続き、御協力いただけますと幸いです。

最後に、学術情報基盤実態調査でございます。平成31年に発生した政府統計における不適切事案を発端として、政府統計に対する国民の信頼が大きく損なわれる事態となりました。政府が実施する全ての統計調査が点検・検証された結果、統計の品質確保が再認識されたところでございます。統計委員会（総務省）は「公的統計の総合的品質管理を目指した取組について」（令和元年9月30日）を建議し、さらに統計改革推進会議統計行政新生部会（内閣官房）は報告書「統計行政の新生に向けて～将来にわたって高い品質の統計を提供するために～（令和元年12月24年）」を作成しております。学術情報基盤実態調査においても、統計作成における業務の改善等に向けた取組に資するため、アンケートを実施させていただきました。皆様におかれましては、御多用の中、御協力いただきまして、誠にありがとうございました。いただいた御意見は、今後、当該調査の業務改善の際の参考とさせていただきます。今後とも、御協力をお願いいたします。

皆様におかれましては、引き続き、様々な問題について、関係者とも連携していただきつつ、柔軟な図書館運営を推進いただきますよう、お願い申し上げます。

本総会・研究大会が、皆様にとって有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。